

【大阪府堺市】

少しのお節介が 介護のまちづくりを進める 「お節介やさかいプロジェクト」



さかいお節介士養成講座講習風景

介護者をレスパイトで支援

知り合いから「私、お節介士です」と言われたら、どんな反応を示すだろう。関西圏と関東・東北圏では、かなり反応が違うかもしれない。あの信長、秀吉を支えた自由都市・堺が、自ら「お節介やさかい」というプロジェクトを立ち上げた。ウィットに富んでいるというか、洒落が利いているというか。東京あたりではちよつとでてこない発想だろう。

具体的には、市が、介護の基礎知識を身につけて周囲の支援の必要な人にちよつとした手助け〃お節介をする「さかいお節介士」を養成し、まちのなかで活動してもらうという仕組み。

実は市は、その前から市民に広く在宅介護を知ってもらう取り組みを開始している。市が3年ごとに立てる介護保険事業計画のなかに、2012年度から介護者のレスパイト事業（家族介護支援事業）の推進を位置づけて、地域で介護者を支える仕組みづくりを進めてきた。国は、高齢者の居場所を病院や施設から在宅へ、という流れで考えており、各自治体には、在宅での介護を支える多様な施策が求められている。

*レスパイト＝休息・息抜き・一時的な中断などを意味する英語。在宅で、障がいのある人や高齢者の介護、育児をする家族などが、一時的に介護・育児などから解放され、休息をとってリフレッシュするための支援をレスパイトケアなどと呼ぶ。

「そのなかで、在宅介護を続けるためには、介護から一時離れてリフレッシュする時間をもつ大切さを、介護を実際に行っている人だけでなく、広く市民に知ってもらうことが必要だと考え、これまでもさまざまな活動をしてきました」

「12年度からは年に1度、『さかい介護スマイルデイ』というイベントを開催しています。また、介護に関する情報を市のホームページで紹介したり、介護者の声やお役立ち情報を掲載する広報紙『さかい介護スマイル通信』も発行しています」

集まってくれた市の長寿社会部の担当者たちは口々に語る。

動き始めたお節介士活動

この「お節介士」という資格は、柴本美佐代さんが代表理事を務める日本エルダーライフ協会が養成を進めている。レスパイトに関して職員の間で共通認識をと始めた勉強会で「お節介士」を知った介護保険課長補佐の三井節子さんたちは、それまで進めてきた介護者レスパイト事業の一つに取り入れられるのではないかと考えた。

「お節介士は、いまいるその場所で、身近な人にほんのちょっとした『お節介』をする人。介護家族に『疲れてない？』とちょっと一緒にお茶でも」と声をかけたり、介護に戸惑ってる人に『あそこに行くと専門家に教えてもらえるよ』と



介護保険課主査
湯川晃明さん



介護保険課主査
西村玲子さん



日本エルダーライフ協会
代表理事
柴本美佐代さん



介護保険課課長補佐
三井節子さん



さかいお節介士養成講座の参加メンバーは多様。活動はその日からすぐできる

教えたり。助け合いの関係を、「介護」という意識をもってする、というものです」と、活動の生みの親の柴本さんは説明する。

市はこれまでも、「さかい介護スマイルデイ」などを開催し、レスパイト啓発事業を中心に活動してきた。今後は、より直接的に支援をする体制づくりを始めたことになる。

堺市は人口約83万8000人。山梨県とほぼ同じだ。市内には7つの区があり、そのうち中区、南区、東区ですでに養成講座が行われ、

お節介やさかい プロジェクト 介護をする人と介護を受ける人が、ともに誇りひとときを♪

第4回 さかい 介護スマイルデー

平成27年10月24日(土) 14:00~16:00
堺市役所本館1階 エントランスホール
(南海高野線「東区駅」西出口からバスロータリーの方角に約200メートル)
ご来場は、公共交通機関をご利用ください。 **入場無料** (申込不要)

14:00~14:45 ●スマイル介護ファッションショー
介護をする人と介護される人がモデルとなって登場!
ご家族はもちろん、みなさまのご声援をお待ちしています。
※「さかいお節介士」が、出演者のサポートをします。



15:00~16:00
●講演会:「笑って笑って お元気に!!」
& 落語 講師: 笑福亭學光さん
笑いを求め、笑いを学び、笑いを活かす「お笑い福祉士」の創設者が
ついに登場! ほっとしたり、笑ったり、レスパイト(介護者の休息)に
ついて考えたり... 楽しい時間を過ごしてください。



レスパイトで 介護力アップ! この事業は、レスパイト(介護者の休息)の重要性を広くご理解いただくことを目的としています。

主催・お問い合わせ 堺市健康福祉局長寿社会部 介護保険課 (堺市堺区南瓦町3-1)
TEL 072-228-7513 FAX 072-228-7853

同時開催 第63回堺市社会福祉大会 第13回さかいボランティア・市民活動フェスティバル
ミニステージやパネル展など、ボランティア・市民活動団体によるさまざまな催しを実施します。
10月24日(土)10:00~16:00 堺市総合福祉会館(堺区南瓦町2-1)
主催・お問い合わせ: 社会福祉法人 堺市社会福祉協議会 地域福祉課 (TEL: 072-232-5420 FAX: 072-221-7409)

第4回 さかい介護スマイルデーでは、介護される人とする人がモデルとなるファッションショーなどを開催

さかいお節介士養成講座 講座内容

- * さかいお節介士の役割・心得
- * 介護保険を利用する前の準備と利用のポイント
- * もしかしたら認知症?
- * 介護と高齢者の住まい
- * 介護生活にかかる費用と保険外サービスなど

堺市健康福祉局 長寿社会部介護保険課

〒590-0078 大阪府堺市堺区南瓦町3-1
TEL 072-228-7513
FAX 072-228-7853

一般社団法人日本エルダーライフ協会

〒619-1154 京都府木津川市加茂町駅東2-2-1-207
TEL 06-6105-0421
FAX 06-6345-7931
代表理事 柴本美佐代
設立 2012年8月30日
会員数 約110名
活動 介護者への情報サポートを行う人材の育成
お節介士(ケアライフサポーター)の養成
その他

12月には北区での開催が予定されている。「各回30人をめどに募集しましたが、非常に人氣が高く、予定人数をオーバーして受け入れたほど。今年度の予定は今のところ、この4区での開催だけですが、ほかの区からも開催希望が来ています」(三井さん)

受講者は介護職員、民生委員、老人クラブ会長、介護家族会のメンバー、介護経験者、一般の方などさまざま。介護の基本的な知識や介護者支援について学び、すでに132人の「さかいお節介士」が誕生して、身近な地域で活動を開始している。また、受講者は今後も勉強会をもつなどして、情報交換や研鑽を続けるという。



高齢施策推進課参事
今津弘子さん



介護保険課
藤田美咲さん

「お節介士が介護のプロになる必要はないんです。正しい情報をもっている人につなげるなど、身の回りを見渡して、ほんのちよつとのお節介をすればいい。何をするかは細かく決まっていませんが、何もしないならお節介士の資格はありません」(柴本さん)

「堺市は、自分たちのまちは自分たちでつくる、という住民意識の高いところです。住民のみさんの力を発揮しやすい環境をつくって、自発的に動いていただけるよう、後押しをしていきたいです」(三井さん)

「私、お節介やさかい」と、気軽に声を掛け合う人の活動が、自治のまちをさらに活性化させそうだ。